

LAPONITE-RDS

低せん断領域でのレオロジー特性を向上させる合成フィロケイ酸塩をベースとした水系用レオロジー添加剤

製品データ

組成

合成(変性)フィロケイ酸塩

一般性状

本データシートに記載された数値は代表値であり、製品規格ではございません。

かさ密度: 1000 kg/m³
pH (水に2 %): 10
含水率: 最大 10 %
外観: 流動性のある白色粉末

貯蔵および輸送

LAPONITE-RDSは、吸湿性があるので、0°C~30°Cの温度で、未開封の元の容器で乾燥した状態で輸送および貯蔵をして下さい。

適用分野

塗料

特長

LAPONITE-RDSは、低せん断領域で粘度を高め、高せん断領域では影響が小さくなります。加工性と貯蔵安定性が向上します。また、水系塗料に使用される顔料、エクステンダー、ツヤ消し剤、その他の固形分の沈降防止にも非常に効果的です。

推奨用途

建築塗料	<input checked="" type="checkbox"/>
木工および家具用塗料	<input checked="" type="checkbox"/>
一般工業用塗料	<input type="checkbox"/>

最適 適

推奨添加量

全配合に対して添加剤として、0.1-2.0%

上述の推奨添加量は初期値としてご利用下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定してください。

添加方法

LAPONITE-RDSを最適に分散させ、最高の効果と再現性を得るには、イオン濃度の低い水(20℃±5℃)で完全に水和させる必要があります。そのため、LAPONITE-RDSは攪拌を続けながらゆっくり水に加えてください。分散液が透明になり、未分散の粒子が見えなくなれば、すぐに使用できます。最適な加工性を得るためには、LAPONITE-RDSの分散液を水中で固形分10%まで調製することを推奨します。

特記事項

LAPONITE-RDSは合成層状ケイ酸塩です。水中で水和して膨潤し、ゾルとして知られる無色透明のコロイド状液体分散体を形成します。水中の固形分濃度が10%の場合、24時間まで流動性が保たれます。

マルチカラーペイント(MCP)**特長**

LAPONITE-RDSは合成フィロケイ酸塩で、マルチカラーペイント(MCP)の配合に最適です。マルチカラーペイントは、異なる色が完全に分離した液滴として共存するように特別に設計された水系塗料です。LAPONITE-RDSは、白色または透明ベースの塗料の配合に非常に適しています。

推奨添加量

ベース塗料を基準として分散添加剤(脱塩水で7%)として、4.0-6.0%

上述の推奨添加量は初期値としてご利用下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定してください。

添加方法

LAPONITE-RDSを最適に分散させ、最高の効果と再現性を得るには、イオン濃度の低い水(20℃±5℃)で完全に水和させる必要があります。LAPONITE-RDSを静かに水に加え、高速で攪拌しながら分散させます。分散液が透明になり、未分散の粒子が見えなくなれば、すぐに使用できます。最適な加工性を得るためには、LAPONITE-RDSの分散液を水中で固形分10%まで調製することを推奨します。

特記事項

LAPONITE-RDSは合成層状ケイ酸塩です。水中で水和して膨潤し、ゾルとして知られる無色透明のコロイド状液体分散体を形成します。水中の固形分濃度が10%の場合、24時間まで流動性が保たれます。

建設用化学品**特長**

LAPONITE-RDSを使用すると、せん断減粘性レオロジー挙動が得られ、使用量に応じて建設用化学品の流動挙動をチキソトロピーから擬塑性に調整することができます。本添加剤は、例えばパテコンパウンドのような分散結合型建設材料配合物のようなスプレー用途に特に適しています。LAPONITE-RDSは、系の貯蔵安定性と沈降防止性を向上させます。アニオン性アスファルト乳剤の安定剤としても使用できます。LAPONITE-RDSは分散媒体の粘度を高め、乳化安定化効果を発揮します。

推奨用途

ミネラルベース	<input type="checkbox"/>
有機結合水性バインダー系	<input checked="" type="checkbox"/>

■最適 □適

推奨添加量

全配合に対して添加剤として、0.5-5.0%（水中で10%分散液）

上述の推奨添加量は初期値としてご利用下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定してください。

添加方法

LAPONITE-RDSを最適に分散させ、最高の効果と再現性を得るには、イオン濃度の低い水（20℃±5℃）で完全に水和させる必要があります。最良の加工性を得るために、LAPONITE-RDSの分散液を水中で固形分10%まで調製することをお勧めします。これにより、後添加が可能になります。特にミネラルバインダーシステム（プレミックストライモルタル）においては、粉体として直接添加することはお薦めできません。

接着剤およびシーリング材**特長**

LAPONITE-RDSは、低せん断領域で粘度を高め、高せん断領域では影響が小さくなります。加工性と貯蔵安定性が向上します。また、水系接着剤やシーリング材で使用されるフィラー、顔料、ツヤ消し剤、その他の固形分の沈降防止にも高い効果を発揮します。

推奨添加量

全配合に対して添加剤として、0.1-2.0%

上述の推奨添加量は初期値としてご利用下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定してください。

添加方法

LAPONITE-RDSを最適に分散させ、最高の効果と再現性を得るには、イオン濃度の低い水（20℃±5℃）で完全に水和させる必要があります。そのため、LAPONITE-RDSはゆっくり水に加えて高速で攪拌しながら分散させます。分散液が透明になり、未分散の粒子が見えなくなれば、すぐに使用できます。最適な加工性を得るためには、LAPONITE-RDSの分散液を水中で固形分10%まで調製することを推奨します。

特記事項

LAPONITE-RDSは合成層状ケイ酸塩です。水中で水和して膨潤し、ゾルとして知られる無色透明のコロイド状液体分散体を形成します。水中の固形分濃度が10%の場合、24時間まで流動性が保たれます。

ビックケミー・ジャパン株式会社
本 社: 東京都新宿区市谷本村町3-29
大 阪: 大阪市北区堂島浜1-4-4
www.byk.com/jp



Your local
contact

BYK-Chemie GmbH
Abelstraße 45
46483 Wesel
Germany
Tel +49 281 670-0
Fax +49 281 65735

info@byk.com
www.byk.com

ADD-MAX®, ADD-VANCE®, ANTI-TERRA®, AQUACER®, AQUAMAT®, AQUATIX®, BENTOLITE®, BYK®, BYK-AQUAGEL®, BYK-DYNWET®, BYK-MAX®, BYK-SILCLEAN®, BYKANOL®, BYKCARE®, BYKETOL®, BYKJET®, BYKO2BLOCK®, BYKONITE®, BYKOPLAST®, BYKUMEN®, CARBOBYK®, CERACOL®, CERAFAC®, CERAFLOUR®, CERAMAT®, CERATIX®, CLAYTONE®, CLOISITE®, DISPERBYK®, DISPERPLAST®, FULACOLOR®, FULCAT®, GARAMITE®, GELWHITE®, HORDAMER®, LACTIMON®, LAPONITE®, MINERPOL®, NANOBYPK®, OPTIBENT®, OPTIFLO®, OPTIGEL®, POLYAD®, PRIEX®, PURABYK®, PURE THIX®, RECYCLOBLEND®, RECYCLOBYK®, RECYCLOSSORB®, RECYCLOSTAB®, RHEOBYK®, RHEOCIN®, RHEOTIX®, SCONA®, SILBYK®, TIXOGEL® and VISCOBYK® are registered trademarks of the BYK group.

The information herein is based on our present knowledge and experience. The information merely describes the properties of our products but no guarantee of properties in the legal sense shall be implied. We recommend testing our products as to their suitability for your envisaged purpose prior to use. No warranties of any kind, either express or implied, including warranties of merchantability or fitness for a particular purpose, are made regarding any products mentioned herein and data or information set forth, or that such products, data or information may be used without infringing intellectual property rights of third parties. We reserve the right to make any changes according to technological progress or further developments.

This issue replaces all previous versions.